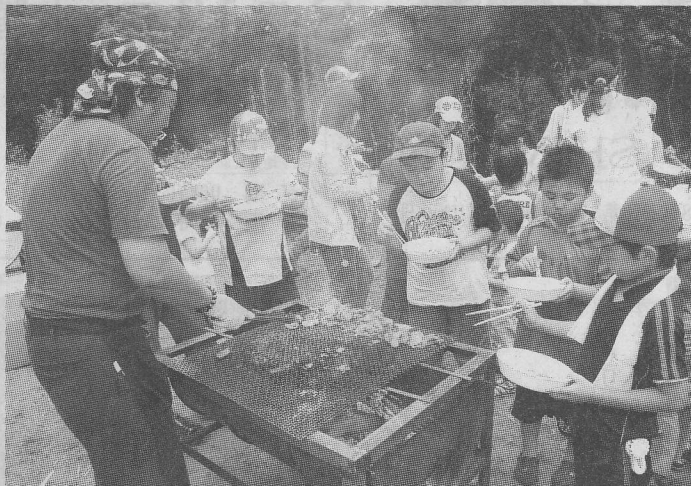


放射能汚染の福島から7家族28人

# 館山のキャンプを満喫

## NPO虹のかけ橋が地元の協力で招待



バーベキューを楽しむ子どもたち＝館山

野祐大代表)が、原発事故の影響で外出もままならない子どもたちに、元気に遊んでもらおうと招待した。開催にあたり5家族を募集したところ、およそ60件の申し込み、問い合わせがあったという。

一行は5日に館山に入り、神余の東虹苑内にある施設を宿泊所に食事づくり、バーベキュー、館山湾花火大会の見物などを楽しんだ。このうち、7日に神余のキャンプ場で行われたバーベキューでは、食欲旺盛な子どもたちが、「おいしい」と、うれしそうに肉や魚介類を食べていた。

12日に帰郷するが、郡

山市から子ども4人を連れて参加したという母親は「放射線が心配で、子どもたちは外で遊ぶことができない。もっといたいくらい」と話していた。

同キャンプに際しては、食材提供や参加者の運送など業者や、地元住民らが協力した。

東日本大震災で被災した福島県内の7家族28人が、館山市でキャンプを、NPO虹のかけ橋(梅

体験、夏休みを楽しんで

いる。同市の市民グループ